

富士正晴記念館特別講演会 役立たずの兵隊のその後

富士正晴と俳句の精神

俳人として先日、4作目の句集『燃えるキリン』を出された文芸批評家の井口時男氏をお招きし、富士正晴作品から俳句にも通じる写生やユーモア、イロニーなどについてお話ししていただきます。

※イロニー：皮肉、反語



出征直前の富士正晴



講師：井口時男氏

講師プロフィール

1953年 新潟生まれ 文芸批評家 俳人

1983年から文芸評論活動。2012年から俳人としても活動。文芸批評の著書に『蓮田善明 戦争と文学』(2019年、論創社 芸術選奨文部科学大臣賞)『井口時男批評集成』(2025年、月曜社)『近代俳句の初志』(2025年、コールサック社)など、句集に『その前夜』(2022年、深夜叢書社 現代俳句協会賞)などがある。

ブログ「批評と俳句：井口時男の方丈の一室」にて日々を綴っている。

日時

令和8年2月14日(土)

14:00～15:30(開場 13:30～)

場所

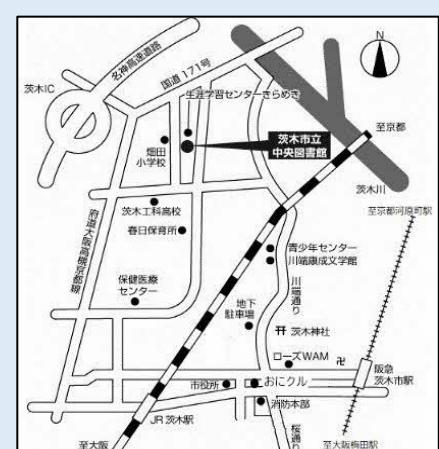
茨木市立中央図書館
2階多目的室

定員

40名

申し込み

1月14日(水)9:30から
中央図書館窓口、電話または
web 申込フォームにて受付
します。



主催：茨木市教育委員会 教育総務部 中央図書館

大阪府茨木市畠田町1-51 TEL 072-627-4129

